

(様式2)新規評価シート

建設部

砂防課

事業種類		地すべり対策		事業名		急傾斜地崩壊対策等				
市町村名		南相木村		ふりがな 箇所名	かみつちいわ 上土岩	事業年度 (完了年度は見込み)	H26 年度～	H30 年度		
事業概要	区分	事業内容			事業費(千円)	財源内訳(千円)				
	全体	施工延長 L=390m 重力式擁壁工 L=390m			200,000	国庫	その他	県債	一般財源	
	H26年度	測量・調査・設計 1式			20,000	9,500	1,000	8,550	950	
箇所評価	区分	評価項目・指標等		評価区分			①得点	②重み 係数	③評点 (①×②)	
	必要性	保全対象人家戸数	■ 10戸以上	□ 5～9戸	□ 4戸未満		30	0.3	30	
		保全対象公共施設数	■ 2箇所以上	□ 1箇所	□ なし		20			
		保全対象に要援護者施設又は避難所があるか	■ 重要施設又は避難所あり	□ 一般施設又は避難経路あり	□ なし		50			
							0			
	小計						100			
	重要性	過去の災害履歴	□ 過去10年に1回以上	■ 災害履歴地	□ なし		30	0.15	11	
		交通遮断による地域経済などへの影響	□ 大	■ 中	□ 小		20			
		防災計画上の位置づけ	■ 位置づけあり	□ 位置づけなし			20			
		小計								70
効率性	費用対効果(B/C)	■ B/C3.0以上	□ B/C1.0以上3.0未満	□ B/C1.0未満		70	0.1	9		
	早期発現度	□ 5年未満	■ 5年～10年未満	□ 10年以上		20				
	小計								90	
緊急性	斜面の高さ	■ 30m以上	□ 10m以上30m未満	□ 5m以上10m未満		35	0.25	21		
	斜面平均勾配	□ 45° 以上	□ 40° 以上45° 未満	■ 30° 以上40° 未満		5				
	地質状況	■ 崩積土、火山砕屑物、強風化岩	□ 段丘堆積物	□ 軟岩・その他		15				
	植生の状況	□ 不良	■ 普通	□ 良好		10				
	保全対象の位置	■ がけ下にある	□ がけ上にある			20				
	小計								85	
計画 熟度	地元の協力	□ 用地等の協力が得られる	■ 用地等の協力が概ね得られる	□ 協力が現時点では得られていない		30	0.2	14		
	地域からの要望	■ 地元住民要望強い	□ 市町村要望あり	□ 特に要望はない		40				
	小計								70	
	費用対効果(B/C)		4.25		評価の合計					85
事業周 辺環境	事業実施に至る歴史的経緯・社会的背景	当該箇所は南相木村の中心部に位置し、勾配32～40°、がけ高さ70mの急斜面で、保全対象として人家15戸および避難所1施設が存在し、うち一部の人家が土砂災害防止法の特別警戒区域に入っている。現地斜面は長大で直下に人家があり、浮き石が多く存在しており、落石による家屋への被害が懸念される。このため早急に対策を講じ民生の安定を図る。								
	地域からの要望経緯	毎年、意見交換時に南相木村より要望がある。								
	事業説明等の経緯	平成23年2月土砂災害防止法による区域指定のための住民説明会において説明している。								
	環境・景観への配慮項目	今後施設計画や構造についての検討をするにあたり、既存の健全な立木を残すとともに在来種を中心とした緑化を図り、環境及び景観に配慮する予定								
	他事業・プロジェクトとの関連									
	特記事項	南相木村の地域防災計画に危険個所の位置付けあり。 H23年4月 土砂災害防止法による区域指定								
地域の合意形成	□ 全員賛成	■ 概ね賛成	□ 過半数賛成	□ 動向不明						
部意見	保全対象に人家15戸、避難所である南相木村公民館がある。斜面には不安定な浮き石も見られ、早期に対策を行う必要がある。			行政改革課 意見	落石による家屋被害が懸念されることから、必要性が高く、緊急性も認められる。					